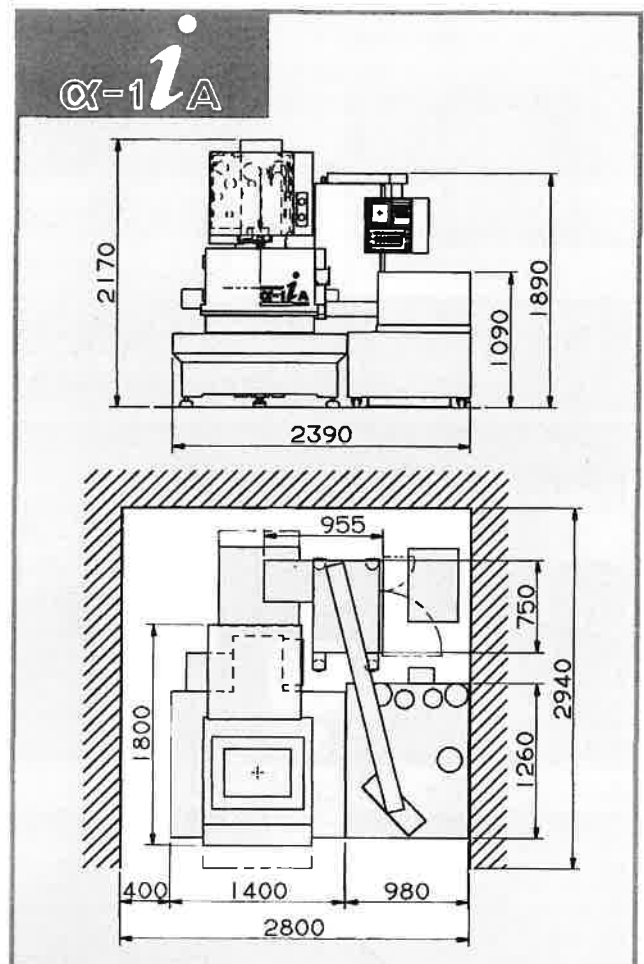
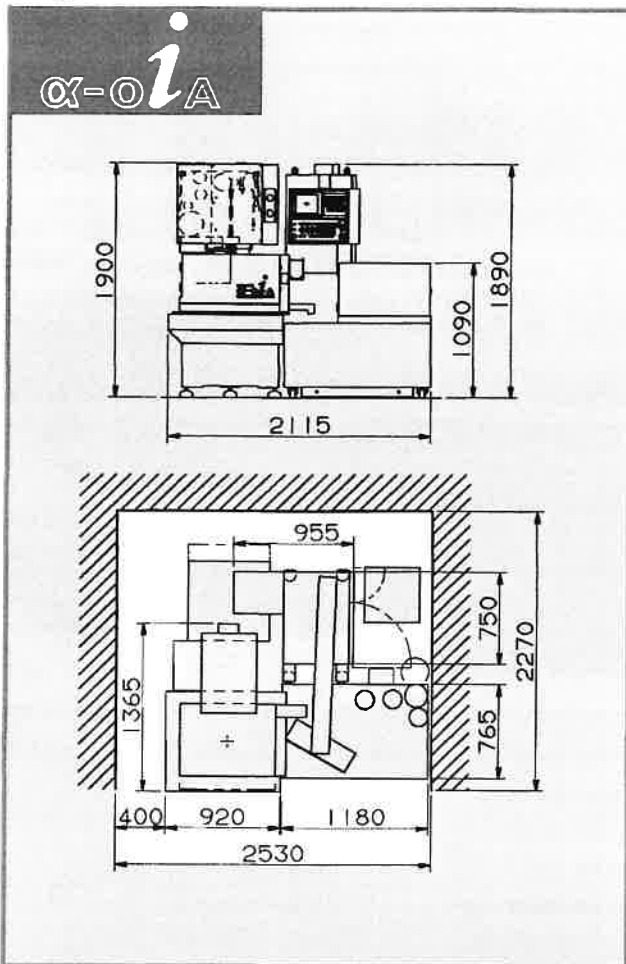


FANUC ROBOCUT *i* series

外形図・フロアプラン



主な仕様

モデル	α-0iA	α-1iA
最大工作物寸法	650×450×180 mm	790×730×300 mm
最大工作物質量	500 kg	1,000 kg
テーブルストローク	320×220 mm	520×370 mm
Z軸ストローク	標準 180mm オプション —	標準 310 mm オプション 410 mm
UV 軸ストローク	±60 mm×±60 mm	
最大テーブル角度	標準 ±30°/80 mm オプション ±45°/40 mm	
使用ワイヤ直径	標準 φ0.1~φ0.3 mm オプション φ0.05~φ0.2 mm	
最大ワイヤ質量	10kg	
最大加工速度	300 mm ² /min (φ0.3 mm真鍮ワイヤ/AC加工)	
機械本体質量	約1,800 kg	約2,600 kg

設置条件

入力電源	AC200V+10%~-15% 3相 50/60Hz ±1Hz	接地工事	電波障害防止、漏電防止のため、必ず接地工事を行って下さい。接地工事にあたっては、電気設備基準に定められた特別第三種工事(接地抵抗10Ω以下)とし、他の機械とは独立に行って下さい。(1点接地)
所要電力	11kVA (クーラなし) 13kVA (クーラあり)		
設置環境	周囲温度:5~40℃ *高精度加工をご要望の場合は、20±1℃に管理して下さい。 また、オイルミスト、粉塵のない環境に設置して下さい。 湿度:75%RH以下(結露なきこと)	シールドルーム	放電/ノイズにより、周囲のテレビなどに障害をあたえる恐れがある場合には、シールドルームの設置が必要です。
		エアークリーン	自動結露機の場合のみ必要です。 空圧:0.5MPa以上 流量:45L/分以上 80L/分以上 (φ0.05AWFオプション時)

1

設置条件

1.1

機械本体および制御装置

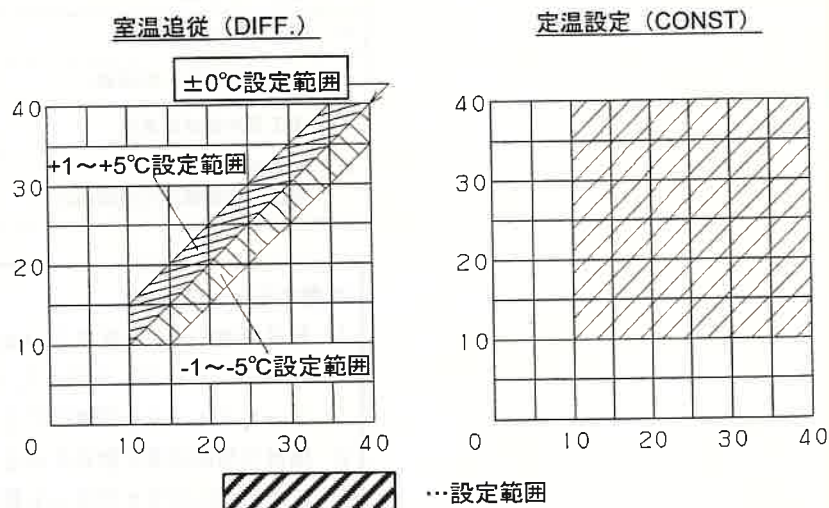
	項 目	α -0iA/0iA5	α -1iA/1iA5
1	入力電源電圧	AC200+10%~-15% 3 相 50Hz/60Hz $\pm$ 1Hz 又は AC220+10%~-15% 3 相 60Hz $\pm$ 1Hz	
2	所要電力 加工液冷却装置なしの場合 加工液冷却装置付きの場合	11kVA 13kVA	
3	周囲温度	5~40℃（高精度加工のときは20 $\pm$ 1℃）	
4	周囲湿度	75%RH 以下（結露なきこと）	
5	機械本体重量	約 1800kg	約 2600kg
6	CNC 制御装置重量	500kg	
7	加工液槽重量（乾燥時）	300kg	
8	加工液冷却装置重量	65kg	
9	エア源⇒ 自動結線機構付の機械のみ	圧力：0.5Mpa（5kgf/cm ² ）以上 流量：45L/min 以上	

設置するときの注意

1. 放送電波の弱い地区あるいは民家が隣接する場合、ワイヤ放電加工機から周辺のテレビ、ラジオにノイズが入ることがあります。必要に応じシールドルームを設置してください。
2. 機械の周囲温度が変化すると加工精度低下の原因になります。高精度加工のためにはワイヤカット専用の部屋を設け、室温が20℃一定になるよう制御する必要があります。
3. オイルミスト・塵埃のない場所に設置してください。
4. 電波障害防止、漏電防止のため、必ず設置工事を行ってください。
接地工事にあたっては、電気設備基準に定められた特別第3種工事（接地抵抗10 Ω 以下）とし、他の機械とは独立に（1点接地）行ってください。

1.2 加工液冷却装置

	項目	α -0iA/0iA5	α -1iA/1iA5
1	入力電源電圧	3相 AC200 $\pm$ 10%、50Hz/60Hz $\pm$ 1% AC220 $\pm$ 10%、60Hz $\pm$ 1%	
2	消費電力	Max 3kW	Max 1.9kW
3	運転電力	Max 9.5A	Max 6.5A
4	接地場所	屋内	
5	周囲温度	グラフ参照	
6	周囲湿度	40~80%RH	
7	使用流体	水	
8	使用液温度	グラフ参照	
9	循環流量範囲	20~30L/min	
10	冷却能力	4000 kcal/h	
11	外形寸法	450x450x775 (mm)	675x400x600 (mm)
12	配管口径 出入口	Rc3/4	



注意

- 範囲以外での使用はアラームが発生する恐れがあります。
- 室温追従で使用の場合
室温 10°C以下では-5~-1°C設定はできません。
室温 40°C以上では+5~+1°C設定はできません。

1.3 設置場所

図 1.3 に示すような配置にしてください。この配置により保守・調整時に最低必要な領域が確保されます。

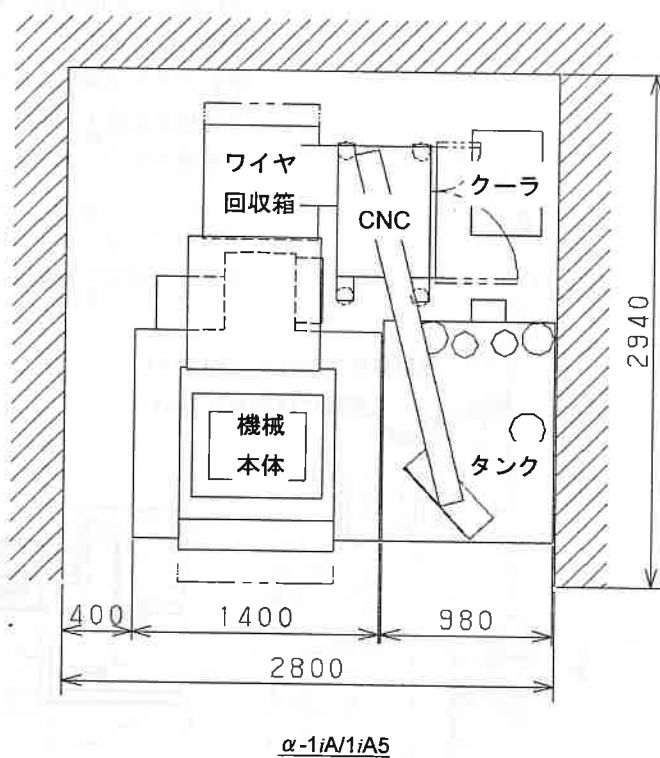
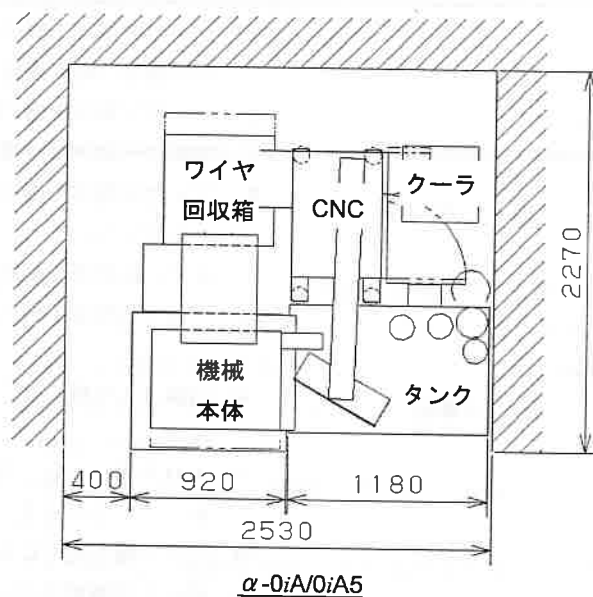


図 1.3 設置場所

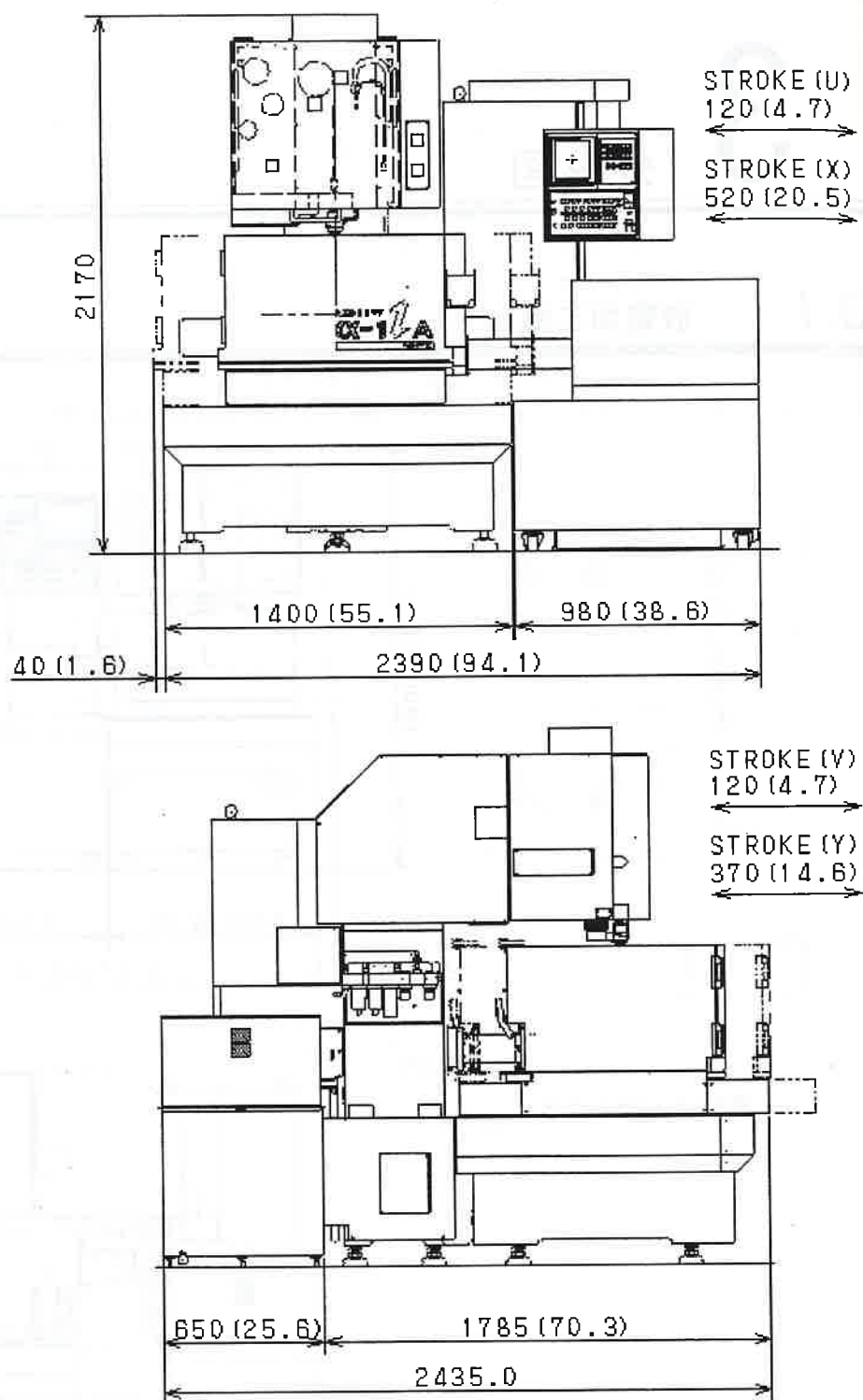


図 3.1 (b) α-1iA/1iA5 の外形図

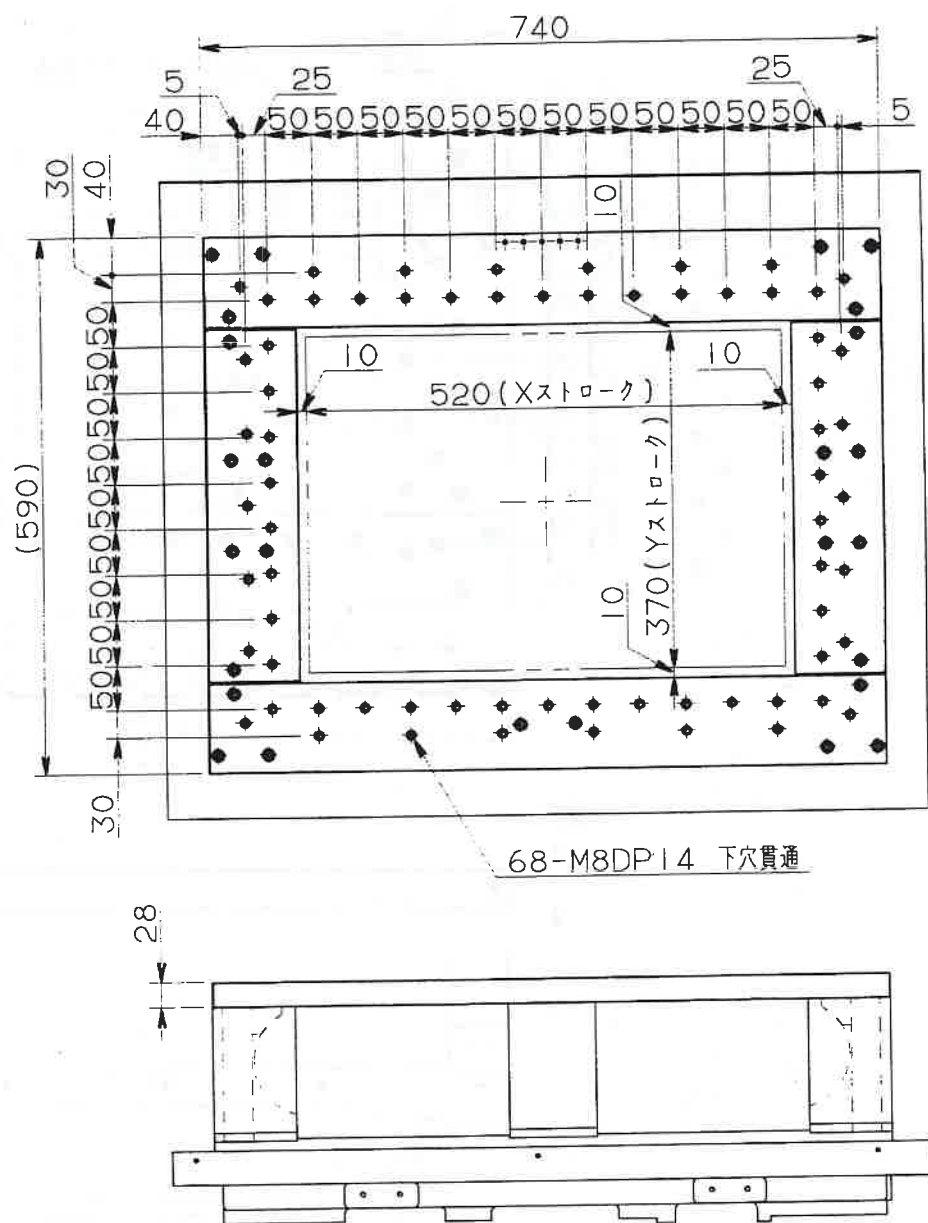


図 3.2 (d) $\alpha-1iA/1iA5$ のワーク置き台